

加古川グリーンシティ 防災会

活動報告

KAKOGAWA GREENCITY

加古川グリーンシティ

- 1986年、14階建を中心とした7棟（81新耐震）として完成
- 584世帯、約2000人が暮らす
- 阪神淡路大震災以後、活発な活動を開始
- 楽しくなければ防災の輪は広がらない「楽しく防災活動をやろう！」



このたびは活動報告
の場を頂戴し
感謝申し上げます。
資料に基づき
時系列にて
報告させていただきます。

加古川グリーンシティの概要

- 加古川グリーンシティ防災会は、兵庫県加古川市のマンション「加古川グリーンシティの住民」によって組織化された自主防災組織
- マンション7棟・**584世帯**の全住民(約2,000人)が全員参加する防災組織
- 広報誌やコミュニティ放送等の情報提供設備を構築、住民参加型の防災活動行事など、子供から大人まで参加した多彩な取組、連絡体制の整備や防災井戸設置など、地域防災力の向上、防災意識の普及活動を行う

加古川グリーンシティの沿革

- 建設当初入居した住民で管理組合を結成
 - 自衛消防隊を組織、消防計画の作成、消火器等消防設備の点検を行う
 - 当初は消防防災委員会として、消防訓練等を行う
 - 後に防犯防災委員会と名称を変更、迷惑駐車を取り締まりや青少年健全育成等の数々の方策を実行
 - 夜回り巡回など安全で安心な団地生活を目指す
- 防災会誕生は、1995年1月17日阪神・淡路大震災が切掛け
- 被災後の兵庫県では、災害ボランティア支援方針のもと、県下に自主防災組織の結成を呼びかける
 - 加古川グリーンシティ管理組合もこの呼びかけに応え、それまでの自衛消防隊と防犯防災委員会を統合した「加古川グリーンシティ防災会」を設立（1998年6月）

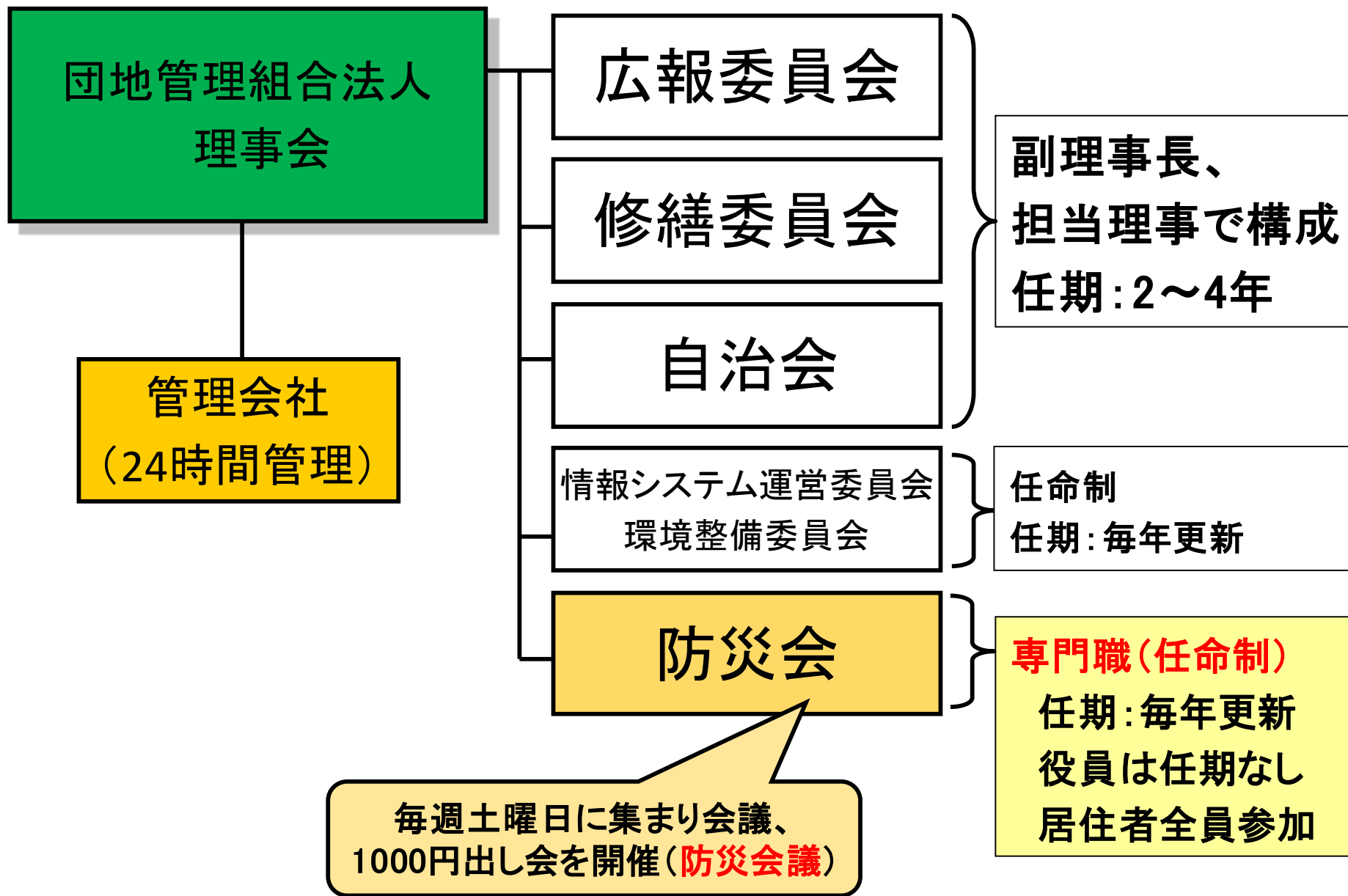
加古川グリーンシティの経緯

- 加古川グリーンシティ防災会は、平成7年の阪神・淡路大震災後にクローズアップされた「**マンションの災害対策**」に取り組む
 - マンションはプライバシーが守られる反面、近所付き合いが薄いのが最大の問題とされる
 - この問題を如何に解決し、どうすれば仲間を増やし、みんなが防災活動に取り組むことができるかを考えた
- **楽しくなければ防災の輪は広がらない「楽しく防災活動をやろう」**というテーマを考え出す
 - 住民の方々に対し多彩なアイデアを仕掛けたことで乗り越え、仲間づくりをすることに大成功する

加古川グリーンシティの再編

- 平成17年12月7日
- 加古川グリーンシティ管理組合を法人化
- **団地管理組合法人加古川グリーンシティの登記**
 - 緊急時の対応がスムーズになる
 - 代表理事長
 - 修繕委員会委員長、広報委員長を副理事長とする
 - 同時に自治会を管理組合内に集約「自治会委員会」とする
 - 自治会委員会の委員長が自治会長となる
 - 自治会委員長は副理事長を兼務
- 行政対策の一元化
 - 窓口を自治会から管理組合に移行
- **大災害後のマンション再建期間の短縮化**

加古川グリーンシティの運営体制



加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

- 1986年
 - 管理組合に自衛消防隊組織を結成
 - 消防防災委員会発足
- 1992年
 - 防犯防災委員会に名称変更
- 1998年
 - 自主防災組織
 - 「加古川グリーンシティ防災会」設立
 - 自衛消防隊と防犯防災委員会一体化
- 「グリーンシティ自警団」設立

ハード事業

- マンション全域「防犯防災カメラ」設置

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•1999年

- 「町内ふれあいもちつき大会」開催
- 契約駐車車両指定シール貼付義務敷地内安全対策
- 赤十字「救急救命法講習会」開催
- 「町内チャンピオンマップ登録」開始
- 「ひと声掛けてください登録」開始

ハード事業

- 「防災倉庫」設置
- 「防災機器」増強
 - 各種資機材購入
- 「防犯防災カメラ」増設

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2000年

- 「**マンションの長屋化**」宣言

- 独自「**防災マップ**」作成配布
- グリーンシティあんしん情報登録制度
「**あんしんカード**」開始

•2001年

- 「**あいさつ運動**」開始
- 親切運動「**親切実行表彰**」開始

ハード事業

- 全エレベーターホール
「**ニューメディアシステム1号**」設置
（モニターで緊急情報伝達システム）

- 長周期地震対策（耐震強化）
「**高置水槽及びブルーバールーフ撤去**」
圧送方式へ変更

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2002年

- ひったくり防止「かごガード」配布
- 近隣マンション対象
「非常時防災協力体制構築会議」
- JR連続立体交差事業
「子ども達の安全対策」
- 「ワールドカップ観戦会」開催
- 「グリーンシティ安全活動」開始

- 「迷惑駐車一掃作戦」開始
- 「我が家で出来る防災訓練」開始

ハード事業

- 迷惑駐車対策
「有料来客駐車場設備」設置

- 緊急情報伝達「グリーンネット」設置
「専用サーバ全戸LAN設備」新規敷設
（マンション内相互通信ネットワーク）

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2003年

- 「兵庫県優良自主防災組織」表彰
- 「あいさつ運動」啓発
- 「人と防災未来センター」見学

- 火災発生防止キャンペーン

•2004年

- 災害図上訓練「DIG」取り入れ決定
- 「小さな親切運動」開始
- 加古川地区防犯協会表彰
- 「命のライセンス」製作

ハード事業

- 各家庭テレビ「48CH」放送配信
「ニューメディア2号」
回覧板を廃止
(テレビ空きチャンネル利用の通信)

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2005年

- 「災害図上訓練DIG」研究会開催
- 携帯版「グリーンシティ防災情報」
- 防災訓練「災害図上訓練DIG」開催

- 応急手当普及員認定

- AED（1台）設置

- AEDトレーニングキット導入

ハード事業

- 防犯防災用「ネットワークカメラ」設置
（ネット回線を利用して緊急情報確認）

- 管理組合法人化
「団地管理組合法人加古川グリーンシティ」

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2006年

- 第10回「防災まちづくり大賞」
総務大臣賞
- 防災会ネックストラップ配布

- 「エレベータ緊急時応急訓練」開催
- 防災功労者内閣総理大臣表彰受賞
- 炊き出し訓練「イカ焼き訓練」開催

ハード事業

- 「防災1号井戸」完成
緊急給水設備併設
（地下30mより最大250L/min）
- 防災啓発施設設置

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

- 2007年
 - 防災インターネットラジオ局「E-KGB」開局
- 「第61回神戸新聞社会賞」受賞
- 「日本水大賞・厚生労働大臣賞」受賞
- 「防災カレンダー」企業とコラボ発行

ハード事業

- 「緊急放送設備機器」導入
防災ポール「防災機器」設置
（アナログスピーカー放送＋LAN）
（緊急放送設備・照明設備）

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2008年

- AED(3台)増設
- 和歌山県有田郡広川町視察
- リアル災害図上訓練「R-DIG」
- 「命のライセンス2008」改訂版発行
- 「帰宅支援サポーター」発行
- 地元FM局(BANBANラジオ)コラボ
「楽しく防災活動」放送開始
- ニューメディア「緊急情報発信」訓練

ハード事業

- 企業コラボ
「自動販売機設置」による飲料水確保
(AED提供)
- 「エレベータ耐震化」
耐震強化及びリニューアル工事

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2009年

- オープン参加方式災害図上訓練DIG
「地域の枠を超えて」開催
- 防災ハンドブック
「**非常持ち出し本・DIB**」制作
- FMラジオ「**防災ショットバー**」開始
- 京都大地震予知研究センター
「阿武山観測所」見学

ハード事業

- 「**避難所案内標示板**」(4ヶ所)設置
- 「**防災ベンチ**」(3ヶ所)設置
- 「**階段昇降機**」避難器具導入
(バッテリー式2台＋手動式1台)

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2010年

- 「防災バスツアー」開催
- 緊急防災情報放送訓練

•2011年

- 第15回防災まちづくり大賞
「情報部門・消防庁長官賞」受賞
- 防災ラジオドラマコンテスト
「審査委員特別賞」受賞
- 地元FM局（BANBANラジオ）
「大地震トライアクト」放送開始
- 防災ゲーム
「災害ハンター・FIRST」開発

ハード事業

- マンション全域「**防災放送設備**」
（アナログスピーカー7ヶ所）設置

- 「**グリーンネット**」リプレイス
 - マンション内ローカルエリアネットワーク
 - 棟間光通信化
 - 各居室ギガ通信化

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2012年

- 防災2号井戸設置排水管理設
- 地震発生時対応
「災害対策本部構築マニュアル」

•2013年

- 「**安否確認シート**」配布
- 「**玄関用役割分担シール**」貼付
- 全役員タブレット配布
「**ペーパーレス化緊急情報共有**」
- 「美味しく防災研修会in有馬」開催
- 「**防災イルミネーション**」開始
(震災を忘れない)

ハード事業

- 敷地内周回道路「**バリアフリー化**」
(大型消防車両進入可能化)
- 要援護者対策(歩いて健康になろう)
「**ウォーキングマップ**」設置
- AED台数追加(全5台配備)
- 夜間安全対策「**自発光式縁石鋏**」設置
- 「**防災2号井戸**」完成・給水設備併設
(地下30mより最大250L/min)

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2014年

- 防災インターネットラジオ
「E-KGB」リニュアルスタート
- 「**安否確認シート追加**」配布
「全員無事・傷病者あり・避難済み」
- 1号井戸・2号井戸「防藻塗料塗布」
- 国宝鶴林寺「**お寺と防災コラボ**」
「鶴林寺移転の謎から黒田官兵衛」
- 防災井戸周辺整備コンクリート塗装
- 避難器具「訓練やぐら」導入

ハード事業

- 新グリーンシティコミュニティ放送
「**dボタンデジタル情報設備**」導入
- ファイヤーレーンリニュアル
「瓦景観舗装・透水防熱対策」
（夏期防熱・雨水浸透）

加古川グリーンシティ防災活動（年表）

ソフト事業

•2015年

- 防災会ツイッター（Twitter）開始
- 防災会「ゴルフ部」結成
- 防災会「園芸部」結成

•2016年

- 集会所耐震化検討委員会

- 通年「ホームページ運営」
- 毎月発行「**防災だより**」（1998年～）
- 毎月放送「**防災ラジオ**」（2007年～）

ハード事業

- 「可搬式防犯カメラ」導入
- 防災井戸イルミネーションリニューアル

- 防災1号井戸用発電機（水害対策）
「低床リフター」導入
- 夏期避難所運営用
「スポットクーラー」導入

加古川グリーンシティの防災活動を考察

- ハード面のライフライン ➡ インフラ〈水道・ガス・電気〉
- ソフト面のライフライン ➡ コミュニティ ← 本当のライフライン
- 防災逸話「土手の花見の精神」の利用
- 我々は防災活動を2つに分けて考えた！
 - ハードウェア
 - ソフトウェア
- それぞれをコーディネートするのが…
- ヒューマンウェア ➡ 我々が創るコミュニティ(生活防災)
- こんなことも防災活動なの？
- なんでも、防災にからめることが大事！
- 逆に言えば、何でも防災にしまえ！
- 普段の生活の中に防災を組み込む！ ← 防災を文化にする！

ソフト面の防災整備

- 「ひとづくり、ひとのつながり」をテーマ
- 「自分で守る」をテーマ
- 「災害発生時の対策」をテーマ
- 「**楽しく**防災活動をやろう」をテーマ

防災会の取り組み：ソフト事業①

ちからこ部(旧チャンピオンマップ)
専門家の登録による知恵袋集団
づくり **500名登録**



あったかカード 2012年 月 日

氏 名

生年月日 昭和 年 月 日

住 所 675-0063

兵庫県加古川市加古川町平野2-4-1
加古川グリーンシティ

治療中の病気

掛りつけ医療機関

医療機関電話番号



緊急連絡先	氏名	続柄 TEL
	氏名	続柄 TEL
	氏名	続柄 TEL
共通連絡先		続柄 TEL
備考		
ID 0004 加古川グリーンシティ防災会 TEL079-		

**あったかカード登録制度
(旧あんしんカード)
緊急連絡先・持病等を登録**

[illegible][illegible][illegible]



「あたかド」登録書

緊急連絡先登録用（ひと）版

増設した「緊急の連絡先」は、コンピュータでは登録事項毎に別冊に印刷します
 世グループネット（Mcloud）よりフォーマットをダウンロードで受取ます

登録候補	印刷日付：「印刷日付」欄、印刷場所：印刷日付の左下に印刷（必ず印刷してください）		
住所	姓	名	登録電話番号
グループネットの加入した住所のみ、 外都府は下部欄に住所を記入			
心づきな			
氏名	男 ・ 女		
生年月日	M . T . S . H .	年	月 日
血液型	A B O A B 型 Rh (+ / -)		
かかりつけ医療機関	病状・医病・クリニック		
持病や治療中の病気			
緊急連絡先 No.1	氏名	TEL.	職業
緊急連絡先 No.2	氏名	TEL.	職業
緊急連絡先 No.3	氏名	TEL.	職業
共通連絡先	氏名	TEL.	職業
備考			

あなたの大切な人を守ろう！

「ちからこ部」入部募集

(旧町内チャンピオンマップ特技登録制度)

あなたのできることを何でも登録して下さい

あなたができることを必要としています

あなたがもっている“技”や、あなたに“できること”を、災害が発生する前に登録していただく募集(入部)のお願いです！

多彩な「ちからこ部員」が多いと、あなたとあなたの大切な家族は、限りなく命が助かる近道を手に入れることができます

ではなぜ、今必要なのでしょう？

災害発生後には、どうしても大切な人を残して仕事に向かわなければならないということは、大切な人を守ってくれるのは誰でしょう？「地域の人たち」です。そのためには、日頃から地域活動に参加することであなたの大切な人を守ることに繋がります！自分の大切な人を守ってくれる地域を自分たちで日頃から創り上げることで、残されたもの同士が「助け合えるシステム」が構築されるのです。そうすれば、あなたは安心して仕事に向かうことができます！

このシステムがあなたのバックアップとなる新システム「ちからこ部」です

「ちからこ部」に入部することであなたの防災スキルはアップします

「ちからこ部」の活動は災害発生時のみとなります

それらの活動を維持できるよう、グリーンシティが備蓄する食料等は災害発生時に「ちからこ部」登録のボランティアが活動する体力維持の為に優先的に使用しますのでご了承下さい

御存知ですか？

東日本大震災の津波から、命が助かったほとんどの人は何らかの形で日頃から「防災活動・地域活動」に参加していた人だったのは、東日本大震災から一年を迎えて周知の事実なのです！ひとりは一人では生きていけないのです

登録方法

別紙の登録書に、氏名・性別・年齢・携帯電話番号、お手伝い(特技・取得技能等)をご記入ください。例えば、「何でもやります」「お手伝いできます」でもOK！

※登録された情報は防災会活動においてのみ使用し、その他の目的には一切使用しません

また、本登録は災害時に於いても、登録者に義務を課するものではありません

以前に「町内チャンピオンマップ」へご登録いただいた方も、再度ご登録をお願いします。

今日登録すれば、1000円相当の防災グッズがもらえる！

防災人材バンク「ちからこ部」
お手伝い(特技等)登録書

棟 号 氏名 電話番号

※グリーンネット(Mecloud)フォーマットをダウンロードできます

氏名	年齢	性別	お手伝いできることNo.(技能・特技)	記念品No.
		男・女		
		男・女		
		男・女		
		男・女		
		男・女		

※下欄の特技No.から該当するものがあれば、その番号を特技欄にご記入(複数可)いただいてOKです。その他、私にはこんな特技があるという方は是非、記入してください。

① 災害時は可能な範囲で協力します	⑪ 各種(記載してください)検査技師です
② 自分にできるお手伝いをします	⑫ ライフライン関係の仕事をしている(職歴記載)
③ 医師です	⑬ 電気工事でできます
④ 元・現 看護師です	⑭ 各種の整備士免許をもっています
⑤ 元・現 介護士です	⑮ パソコンで情報収集、発信、整理等できます
⑥ 元・現 薬剤師です	⑯ カメラやビデオで記録を撮ることができます
⑦ 保健・医療関係の知識があります	⑰ 英会話ができます
⑧ メンタルケアができます	⑱ カ仕事できます
⑨ 消防・防災等の専門知識があります	⑲ 大工仕事が可能です
⑩ 防犯の対策等の専門知識があります	⑳ 炊き出します
⑪ 災害時は公務優先だが平時にお手伝いします	㉑ 物資の整理・配給できます
⑫ 救命講習を受講している(AED使用可)	㉒ 貸出できます
⑬ 建築士、土木施工監理士等免許を持っています	㉓ 子守ができます
⑭ ユンボ等の建設重機を扱えます	㉔ ゴミの分別できます
⑮ チェーンソー、エンジンカッタ等を扱えます	㉕ 災害時趣味を生かすことができる(裁縫等)
⑯ 土木・建設関連の知識があります	㉖ その他(具体的にお書きください)

登録された情報はグリーンシティ防災会活動においてのみ使用しその他の目的には一切使用しません
提出は、管理事務所または各棟管理組合ご意見箱にお願いします

加古川グリーンシティ防災会

あったから安心・あったから助かった あったかいお付き合い

「あったカード」登録募集

(あんしんカードとひと声かけて登録をコラボしました)

居住者及び関係者を対象に、あなたを守る証明書「あったカード」登録制度を開始します。

日常の中でももしも何かが起こった時、誰に連絡をすれば良いのか？すぐに家族や親戚に警察や救急からうまく連絡がつけば良いでしょうが、そうはうまくいかないものです。連絡を付けるまで数時間から数日かかる場合もあります。

例えば、子どもが自転車ですり遊びに出かけていた時に交通事故に遭っても、子どもたちが身分証明となるようなものを持っているのは稀です。そんな時でも、「あったカード」に登録し日頃から所持していれば、「あったカード」登録先に速やかに連絡することができます。また、「あったカード」を所持していない時でも、グリーンシティ自転車登録証を自転車に貼っていれば、自転車の登録から家族に連絡することが速やかにできます。実際、子どもの単独事故の場合、夜になっても帰宅せず、家族の捜索願が出てから、我が子が事故に遭っていたことが判る場合もあるのです。

また、高齢者の場合も同じで、保険証などの所持品から身元がわかり連絡できるのですが、独居や高齢者のみの世帯の場合、連絡先を探すことが困難になり時間を要することが多々あります。そんな場合でも、「あったカード」に登録しておけば、適切な連絡先に速やかに連絡することができ、遠隔地の家族や親戚も安心できるようになります。

現役世代は身分証明があるから安心していませんか？その身分証明には家族への連絡先は記載されていますか？「あったカード」は日常の緊急連絡体制や災害時の連絡にも機能する優れものです。

そして、お年寄りの方や傷病者、障がいをお持ちの方がいらっしゃるご家庭等には、少しでも早く声をかけられるように、「災害時要援護者用」にも登録をお願いします。障がいによってはFAX通信等の必要な方は、あわせてお知らせください。

※登録された情報は防災会活動においてのみ使用し、その他の目的には一切使用しません



「あったカード」登録書

緊急連絡先登録用 (ひとり1枚)

複数枚ご要り用の場合は、コピーまたは管理事務所までお願いします
※グリーンネット (McCloud) よりフォーマットをダウンロードできます

記念品No.	記念品は「ちからこ部」募集用紙に添付の記念品欄からお選びください		
住所 グリーンシティの方は上段のみ、 外部の方は下段に住所を記入	棟	号	自宅電話 携帯電話
ふりがな			
氏名			
性別	男 ・ 女		
生年月日	M. T. S. H.	年	月 日
血液型	A B O AB 型 Rh (+) (-)		
かかりつけ医療機関	病院・医院・クリニック		
持病や治療中の病気			
緊急連絡先 No.1	氏名	TEL	続柄
緊急連絡先 No.2	氏名	TEL	続柄
緊急連絡先 No.3	氏名	TEL	続柄
共通連絡先	氏名	TEL	続柄
備考			

加古川グリーンシティ防災会

防災会の取り組み：ソフト事業②

■ 全員参加の災害時の体制づくり



全戸を「初期消火班」、「通報班」、「避難誘導班」に割り振り、
玄関ドアにシンボルマークを設置し、意識付け

防災会の取り組み：ソフト事業③

■災害時の安否自己確認マグネットシート



災害発生時の安否確認を目的として、全住戸の玄関ドア内側にマグネットシートタイプで貼付。普段は防災啓発に。災害時には、玄関ドアの外側に貼付して、安否確認情報表示用として使用。

防災会の取り組み：ソフト事業④

■災害時の行動指針を制作

[illegible][illegible]

命のライセンス ・地震発生時の行動指針

[illegible][illegible]

帰宅支援サポーター ・災害発生時の行動指針

防災会の取り組み：ソフト事業⑤

■何のために防災活動を行うのかを導き出す



地震発生（3秒）	2
揺れが止まった（1～2分）	3
揺れが止まった（3分）	5
揺れが止まった（5～10分）	6
揺れが止まった（10分～数時間）	9
揺れが止まった（2時間）	12
揺れが止まった（3時間）	13
揺れが止まった（4時間）	20
揺れが止まった（5時間）	26
揺れが止まった（6時間）	30
揺れが止まった（7時間）	33
揺れが止まった（8時間）	35
揺れが止まった（9時間）	37
揺れが止まった（10時間）	39
揺れが止まった（11時間）	40
揺れが止まった（12時間）	41
揺れが止まった（13時間）	42
揺れが止まった（14時間）	44
揺れが止まった（15時間）	46
揺れが止まった（16時間）	47
揺れが止まった（17時間）	48
揺れが止まった（18時間）	50
揺れが止まった（19時間）	65
揺れが止まった（20時間）	69
揺れが止まった（21時間）	77
揺れが止まった（22時間）	81
揺れが止まった（23時間）	85
揺れが止まった（24時間）	92
揺れが止まった（25時間）	103
揺れが止まった（26時間）	104
揺れが止まった（27時間）	106
揺れが止まった（28時間）	111
揺れが止まった（29時間）	112
揺れが止まった（30時間）	114
揺れが止まった（31時間）	116

地震発生時の行動	17
地震発生時の行動（1）	17
地震発生時の行動（2）	17
地震発生時の行動（3）	17
地震発生時の行動（4）	17
地震発生時の行動（5）	17
地震発生時の行動（6）	17
地震発生時の行動（7）	17
地震発生時の行動（8）	17
地震発生時の行動（9）	17
地震発生時の行動（10）	17
地震発生時の行動（11）	17
地震発生時の行動（12）	17
地震発生時の行動（13）	17
地震発生時の行動（14）	17
地震発生時の行動（15）	17
地震発生時の行動（16）	17
地震発生時の行動（17）	17
地震発生時の行動（18）	17
地震発生時の行動（19）	17
地震発生時の行動（20）	17
地震発生時の行動（21）	17
地震発生時の行動（22）	17
地震発生時の行動（23）	17
地震発生時の行動（24）	17
地震発生時の行動（25）	17
地震発生時の行動（26）	17
地震発生時の行動（27）	17
地震発生時の行動（28）	17
地震発生時の行動（29）	17
地震発生時の行動（30）	17



①まず、何が起こっているのか冷静に確認し、身の安全を確認する！

- 揺れが強いときは大慌てです。揺れが強いときは、人のかたは横になり、自分の身の安全を第一に考えます。
- 揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。
- 揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。
- 揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。
- 揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。
- 揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。
- 揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。
- 揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。
- 揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。
- 揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。揺れが強いときは、自分の身の安全を第一に考えます。



②揺れがおさまったら、火の始末！

- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。
- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。揺れが止まったら、火の始末を確認します。
- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。揺れが止まったら、火の始末を確認します。
- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。揺れが止まったら、火の始末を確認します。
- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。揺れが止まったら、火の始末を確認します。
- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。揺れが止まったら、火の始末を確認します。
- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。揺れが止まったら、火の始末を確認します。
- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。揺れが止まったら、火の始末を確認します。
- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。揺れが止まったら、火の始末を確認します。
- 揺れが止まったら、火の始末を確認します。揺れが止まったら、火の始末を確認します。



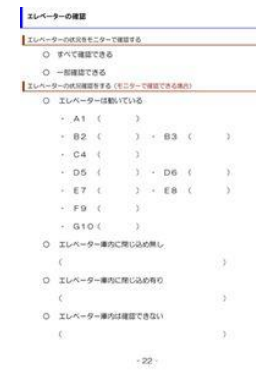
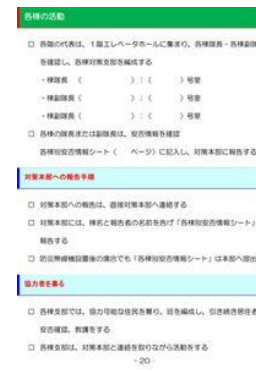
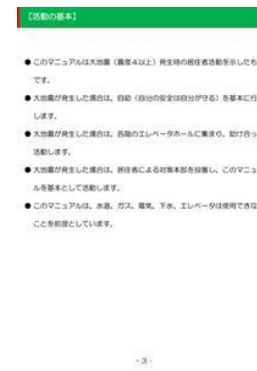
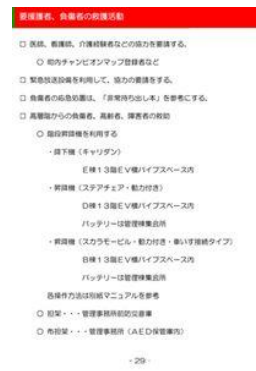
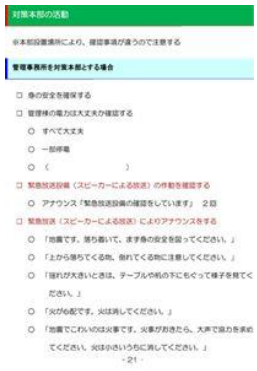
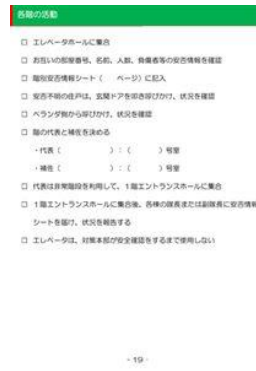
③余震に注意！ みんな無事か？

- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認
- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認
- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認
- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認
- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認
- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認
- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認
- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認
- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認
- 余震に注意！ みんな無事か？ 出火していないか？ 電話機も確認

非常持ち出し本「DIB」 ・災害発生時の行動指針 解説・学習用として制作

防災会の取り組み：ソフト事業⑥

■災害時の行動指針を制作



地震発生時等災害時 本部設営対応マニュアル

防災会の取り組み：ソフト事業⑦

■ 安否確認プログラムSCP (スコープSafety Confirming Program)

The screenshot shows a spreadsheet with columns A through N and rows 1 through 22. A dialog box titled "安否確認" (Safety Confirmation) is open, displaying fields for building name, room number, name, telephone number, and confirmation status. The dialog box also includes a "コメント" (Comment) field and buttons for "決定" (OK), "キャンセル" (Cancel), and "終了" (End).

B 棟									
1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410
1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310
1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210
1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110
1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010
901	902	903	904	905	906	907	908	909	910
801	802	803	804	805	806	807	808	809	810
701	702	703	704	705	706	707	708	709	710
601	602	603	604	605	606	607	608	609	610
501	502	503	504	505	506	507	508	509	510
401	402	403	404	405	406	407	408	409	410
301	302	303	304	305	306	307	308	309	310
201	202	203	204	205	206	207	208	209	210
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
1号室系	2号室系	3号室系	4号室系	5号室系	6号室系	7号室系	8号室系	9号室系	10号室系

The screenshot shows a dialog box titled "安否確認" (Safety Confirmation). It contains fields for building name, room number, name, telephone number, and confirmation status. The dialog box also includes a "コメント" (Comment) field and buttons for "決定" (OK), "キャンセル" (Cancel), and "終了" (End).

災害発生時の的確な安否確認の為の
システム開発

防災会の取り組み：ソフト事業⑧

■子どもたちとの合同活動



子どもとの合同夜回り



スポーツ等の
パブリックビューイング



防災会の取り組み：ソフト事業⑨

■趣味を取り入れた活動

園芸部

植物とふれあうことの好きな方を巻き込む活動



ゴルフ部

ゴルフ愛好家を巻き込む活動

防災会の取り組み：ソフト事業⑩

■地域とのふれあい防災活動



地域交流活動

グリーンシティ夏まつり



グリーンシティ餅つき大会



地域清掃活動



防災会の取り組み：ソフト事業⑪

■ 防災訓練



自分たちのまちを守る

防災会の取り組み：ソフト事業⑫

■エレベーター対応訓練



エレベーター緊急時対応訓練

防災会の取り組み：ソフト事業⑬

■情報発信



インターネットラジオ「e-KGB」



FMラジオ「防災ショットバー」



コミュニティ新聞「グリーンだより」

防災会の取り組み：ソフト事業⑭

すべての防災はここから始まる



「あいさつ運動」は防災活動の基本

- ・ 良好なコミュニティ形成なしに防災力の向上はない！
- ・ コミュニティの形成により、信頼度をたかる
- ・ それらを踏まえた上で、ハード事業が成り立つ！
- ・ 日常、挨拶もできないのに災害時には本当に活動できるの？

ハード面の防災整備

- 住民同士の情報共有をテーマ
- 災害に強いまちづくりをテーマ
- 非常時連絡体制をテーマ
- 安心安全対策をテーマ

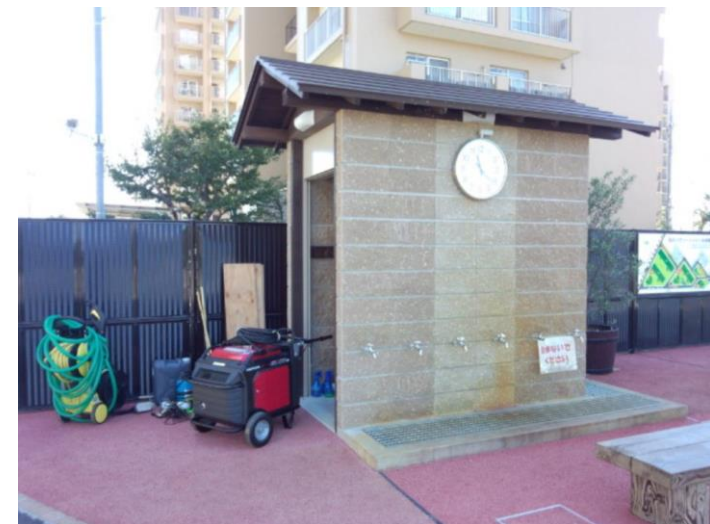
防災会の取り組み：ハード事業①

防災1号井戸の設置(かけ流し)
緊急用蛇口の増設可



防災会の取り組み：ハード事業②

防災2号井戸の設置(かけ流し) 緊急用蛇口の設置



防災会の取り組み：ハード事業③

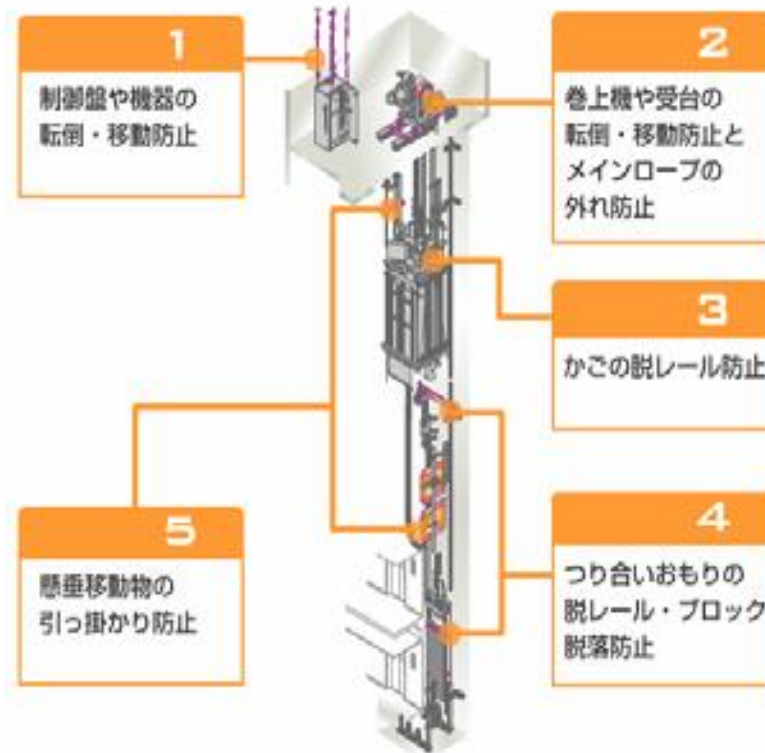
長周期地震動の対策

耐震性向上に高架水槽を撤去



防災会の取り組み：ハード事業④

エレベーター耐震強化



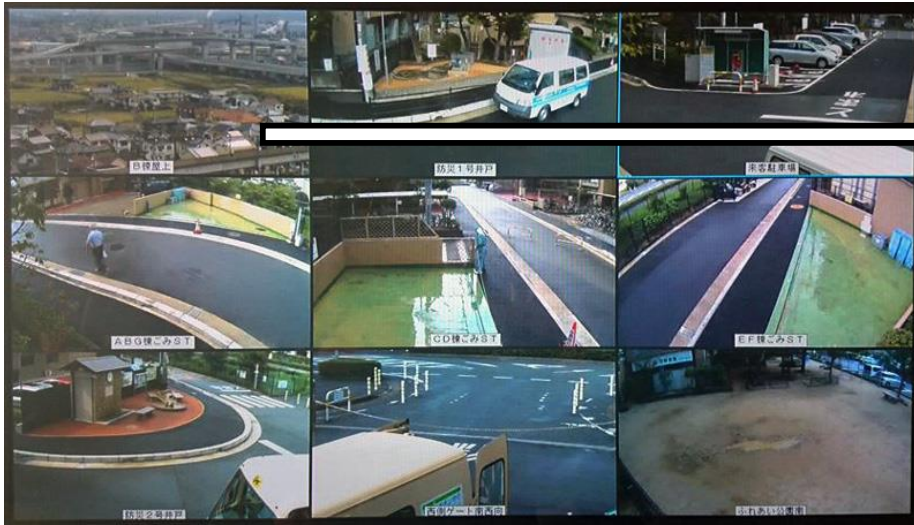
新耐震基準（'98耐震）を満たすエレベータ化
『耐震補強』

防災会の取り組み：ハード事業⑤



「グリーンネット」イントラネット構築
マンション運営情報及び緊急情報伝達システム導入

防災会の取り組み：ハード事業⑥



- コミュニティ放送により
- ・緊急時の情報提供
 - ・デジタル放送化でdボタンを活用
 - ・必要な文字情報の発信・収集
 - ・屋上カメラの活用
 - ・平時の幹線道路渋滞確認
 - ・災害時の情報収集

防災会の取り組み：ハード事業⑦

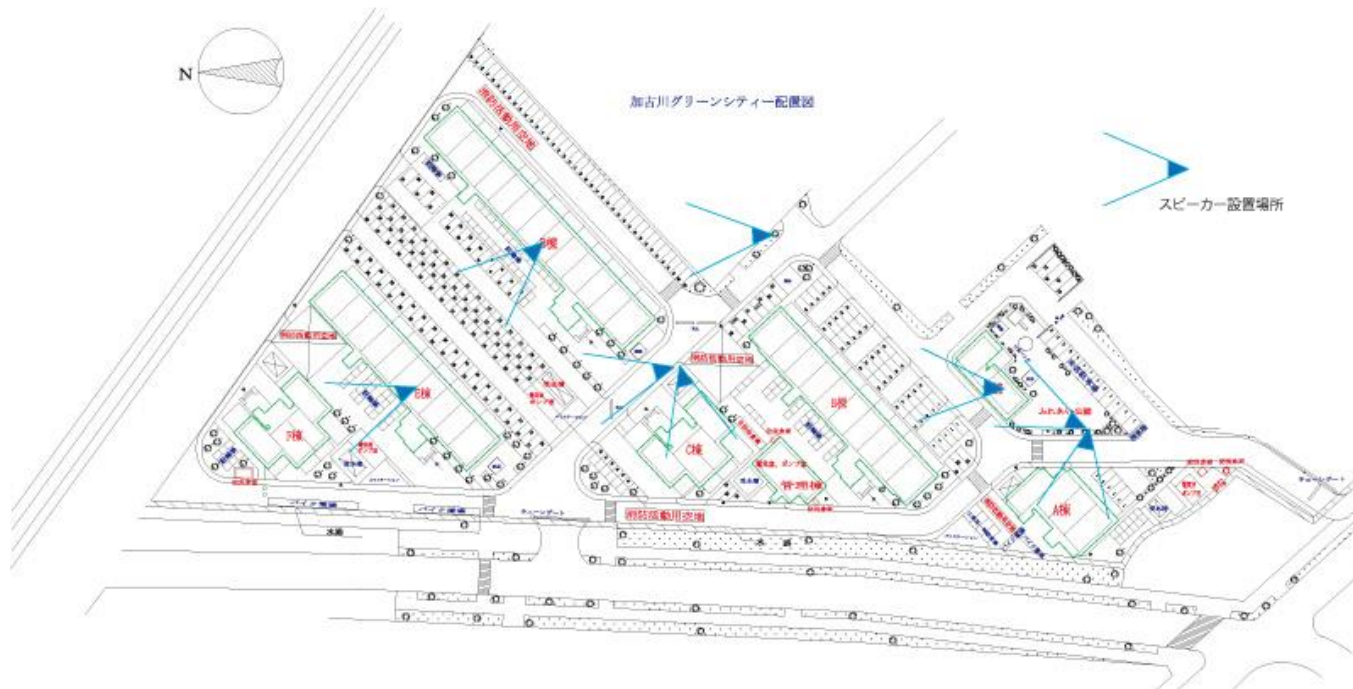
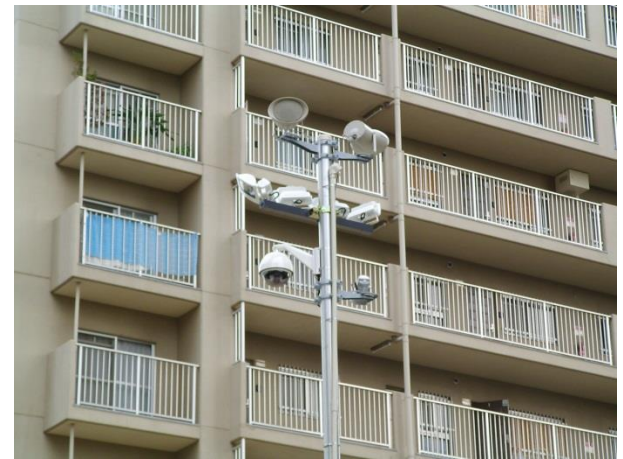


緊急時安全管理システム
50台の防犯防災カメラ

防災会の取り組み：ハード事業⑧

防災放送設備

8台のスピーカー設置
敷地内居住区をカバー

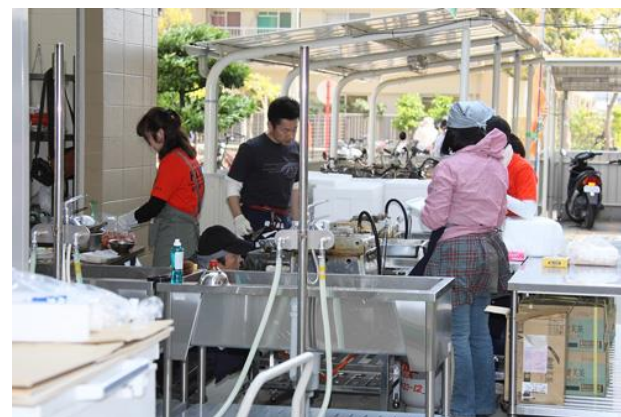


防災会の取り組み：ハード事業⑨



炊き出し専用倉庫の設置

- ・イカ焼き機
- ・厨房機器
- ・大型冷蔵庫
- ・ガス



防災会の取り組み：ハード事業⑩



防災ベンチ

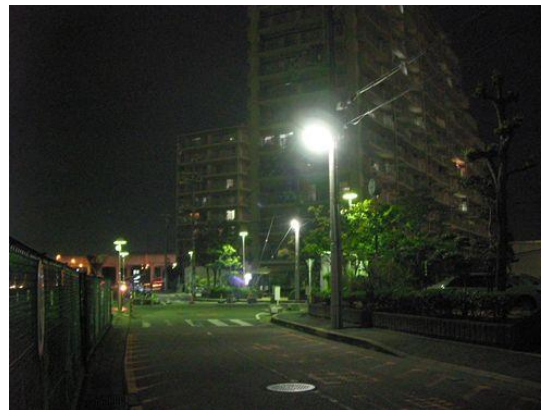
- ・平時は休憩所
- ・緊急時は救助用具（バール・ジャッキ）

防災会の取り組み：ハード事業⑪

■ 防犯対策



携行型拘束網展開装置
「ネットランチャー」



「防犯灯」 防犯対策 増設・強化 LED化

防災会の取り組み：ハード事業⑫



避難場所 指示看板



防災無線



防災資機材



防災会の取り組み：ハード事業⑬

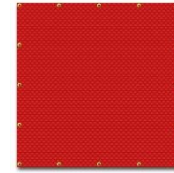
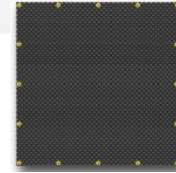
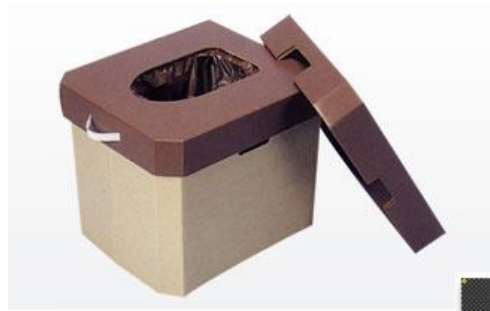


避難用具（キャリダン等）

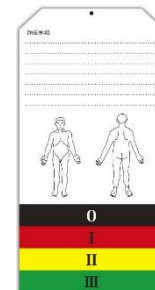


昇降可能避難用具
（スカラモービル・ステアチェア）

防災会の取り組み：ハード事業⑭



応急トイレ



トリアージシステム

防災会の取り組み：ハード事業⑮



玄関ホールのAEDはコカコーラ
が提供、売上で5台を維持管理



手投げ消火弾
サット119

防災力向上へ「あいさつ運動」 効果検証

●あいさつ運動から始める

- ↓ 多様な参加が推進される
 - ↓ 更なる参加を促す為のイベント開催
- ↓ 町が動き出す
 - ↓ 町を自分たちで**創造**している感覚
 - ↓ 自分たちの町に**興味**を持ち出す
 - ↓ 自分たちの町に**愛着**を持つようになる
 - ↓ ※弊害 無作法な人も集まる(マナー違反者)

◆情報やスキルのなさに他地域に情報を求める

- ↓ 集める手段のスキルアップ
- ↓ 多くの情報を得る
- ↓ 行政をあてにせず、自立する方向を目指しだす
 - ↓ マナーが向上する
- ↓ 挨拶から**防災**を核にして、町づくりが進む！
- ◆町が「**住みやすくなる・楽しくなる・強くなる・大切になる**」
- ◆究極の防災力は「**あいさつ・挨拶**」が生み出すことになります！



加古川グリーンシティ防災会の結論①

- ソフト面の防災整備
 - 市民の努力によって成し得ることが可能
 - 限界はない
 - 地域の人を持つ「知恵・知識」を出し合う
 - 「お互い様の精神」を忘れない
 - 信頼関係や人間関係が向上する
 - 社会的ネットワークが構築される
 - 関係が豊かになる
 - 「住みやすい町」ができる ← 防災力向上
- ソフト事業だけでは乗り越えられない

加古川グリーンシティ防災会の結論②

- **ハード面の防災整備の必要性**
 - 市民には限界がある
 - ある程度での「あきらめライン」
 - 防災事業には「多くの費用」が必要
 - 住民の理解を得たとしても限界がある
 - 誰のための備えなのか？
- **「備えようと努力する人」への行政支援**
 - 備えようと努力する人に負担が掛かる
 - 「備えようとしない人」の分も費用負担
 - 「備える方法」は地域によって大きく違う
 - 全国一律ではない「戸建と集合住宅でも違う」
 - 「備える努力をする人」への支援を拡充

加古川グリーンシティ防災会の結論③

• 兵庫県の現状

- 「ひょうご安全の日推進事業助成金」←有難い
 - しかし、防災・減災等の「活動」を支援するものであり
 - 資機材、備品、設備等の「整備」を目的とするものではない
- では、何をどの様に「備えろというのか？」
- 知恵を絞って予算を付けてもらおう←大変（自主防）

• 阪神・淡路大震災から20年を越えて

- 自主防災への支援・対応が進化していない！
- 「生き残る努力をするもの」へ支援すること
- 「死なない対策」 死んでからいくら支援してもらっても意味がない
- 「生き残る対策」への対策・支援を考える！